



# KoKoRoの窓

株式会社 KoKoRo 愛媛県新居浜市大生院438-3 TEL: 0897-47-5575

## ことばの重み・通じ合い！

私の子どもの頃と比べると、いつでも、どこでも、何でも平気によく話せ、自分の言いたいことを主張することができる子ども達が増えています。それも流ちょうに相手を論破するように。時々ついでに行けないこともあるくらいです。

一国の総理大臣ですら、言葉を飾り立て、意味を曖昧にし、ことの実態をすり替えているのですから。それができる人が頭が切れると評価される社会なのでしょうか。

ちょっと気を抜いていると、その真意を取り違えることもよくあるように思います。講演会をしてくださった小西先生も、情報量はとてつもなく多く、ややもすると先生でもごまかされてしまうことがあるから、それが疲れるとおっしゃられていたくらいです。



言葉の数が少なくても、飾り立てる言葉がなくても、心から出た言葉は、重みがあります。経験から出た言葉には、耳を傾けようとします。最近では、そうした言葉の重みが感じられない気がするの、私だけではないと思います。

大変流ちょうなセールストークに、ついつい引き込まれてしまうこともあります。若い人と食事に行くと、料理が出されるたびに、「ありがとうございます」というのを聞くのですが、それってどうなんでしょうね。日常会話を会社でならったマニュアル通りの会

話をしているのではないかと思います。職員に叱ったときすら「すみません」とは言わずに「ありがとうございます」という人もいるのですから。挨拶などは「挨拶運動」と称して上からしなさい！といわれると、閉口してしまいます。自然に出てくる「おはよう・さよなら」とか「ありがとうございます」を聞くとほっとします。日常生活の中で、心地いい会話を経験している人は、話し上手とか下手とは違い言葉を飾らなくても心が通う会話ができるものです。

30年も前の話ですが、息子（3歳位の頃）と臨終に近い母を見舞いに行った帰り道、夕日が傾く空の下、手をつないで歩いていると、

何かしら、心が洗われるようなすがすがしさを感じました。すると息子も何か感じたらしく「父さん気持ちいいね！」と一言。言葉がなくても手と手で気持ちが通じた瞬間です。

こういうことは、人生でめったにあることではありませんが、心が通じる瞬間です。心が通う経験が少なく、言葉の重みを感じ取れにくくなった社会になり、そのことに気づかないうちに慣れてしまっている。

慣らされるというのが一番怖い気がします。社会の変化に、自分の心の移ろいにも目を向ける必要があるのだと思います。

## 小西先生講演会を終えて！

10月1日、17年度のKoKoRo子育てサポート講演会は、「銅夢にはま」で、おこなわれました。この東予地域にも、終了後の感想用紙にも「もっと聞きたい」「先生には愛がある、ファンになりました」という感想がほとんどでした。先生のお話は、そんなに肩を張らず、ゆっくりと子育てをしましょう。24時間ずっと気を張って子育てはできませんよ。そういうメッセージが「小西流の」言葉で交わされました。

「スマホで子育て」の日本医師会のポスターにも痛烈な批判を。いけないことはわかっている、しかし、上から一方的にスマホで子育てする親はダメだという言い方が気に入らない。たまには、いいじゃないですか。もっと、ゆとりを持って子育てしましょう。そんなメッセージです。また、今の情報は質と量ともに高く、その中の悪を見逃すことがあるとも。

一見良さそうに聞こえるキャッチフレーズなどにごまかされないようにしなければいけない時代になりました。

## クリスマス商品予約セール！！

10月から11月2週目まで、クリスマス商品をご予約注文していただいた方は、10%でクリスマスに商品をご提供します。なお、Cuboroの製品につきましては、新規ご予約は2018年以降になります。詳しくはHPで。

HP: [kokoronoasobi.co.jp](http://kokoronoasobi.co.jp) ✉ [info@kokoronoasobi.co.jp](mailto:info@kokoronoasobi.co.jp)